

2013年、夏―

# 最高のチーム、 ゆえに最強

今年二度目の全国大会出場。

華麗なプレーで勝ち取った準優勝。

多くの感動をくれた

最高で最強のチーム、

不滅なれ「奥沢ヴィーナス」



全日本小学生女子ソフトボール大会での準優勝を喜ぶ奥沢ヴィーナスの選手たち

## okusawa Venus

# 美しく、そして誰よりも強かった… 「奥沢ヴィーナス」

2013年、夏。奥沢小学校ソフトボールクラブ、「奥沢ヴィーナス」が、第27回全日本小学生女子ソフトボール大会で準優勝、そして第41回県小学生女子ソフトボール大会で優勝を果たしました。彼女たちの笑顔と共にある強さの秘訣を語ってもらいました。

夢の舞台、全国  
栄光を勝ち取った熱い夏

2013年春の全国大会、初戦敗退…。やっとなつかんだ全国への切符、悔しさと涙が溢れたが、選手たちはすでに次の「夏の全国大会」を見つめていた。

それからの彼女たちは、「勝ちたい」という強い思いを胸に、休みなく辛い練習を重ねた。

試合では、研ぎ澄まされた技、強い気持ちが見られ、予選を次々と勝ち抜いていき、二度目の全国大会出場を果たした。そして夢の舞台、夏の全国大会で、彼女たちは誰よりも美しく、そして高く舞った。

結果は準優勝。その華麗なるプレーに観衆は言葉を失い、涙を流した。しかし、彼女たちは悔しさに唇を噛みしめて涙を流し、そして、

誰よりも大きな声で泣いた。夏の全国大会準優勝。その華々しい結果に誰もが歓喜し称賛したが、彼女たちはまだ納得していなかった。「優勝だ。この最高のチームで最後は絶対一番になるんだ。」この最後まであきらめない勝利への気持ちと、チームメイトへの熱い想いこそが、彼女たちを突き動かす底なしのエネルギーになっているのかもしれない。

そして、彼女たちはこの最高のチームで最後の大会となる県大会を制し、みごと有終の美を飾った。

奥沢ヴィーナス、全国大会準優勝、そして、県大会優勝おめでとう。このチームは誰よりも強く、そして美しい、ゆえに最高で、最強である。

### 芯が強いまとまったチーム

小学生ソフトボールの楽しさ難しさは、毎年同じメンバーではできないこと。そして、1年間の限定であることだと思います。子どもたちにとって何が最適なのかを常日頃より試行錯誤しています。

今回のように全国大会準優勝となると、自分のやってきたことが正当化してもらえた気がして子どもたちにはとても感謝しています。今後中学、高校とソフトボールを続けていってもらえれば、小学校時代の指導者としての役目は果たせたかなと考えています。

奥沢ヴィーナス監督  
No.30\_大原 浩美



Hiromi Ohkawara

おおかわら・ひろみ 2005年より奥沢小学校ソフトボールクラブ「奥沢ヴィーナス」の監督として指導。優しく、落ち着いた物腰。選手からの信頼は極めて厚い。



# Best Player Line-up!!



Miyu Murata

## 10 村田 実夢

6年 キャッチャー 右投げ・右打ち

春、夏連続で全国大会に出場し、夏は準優勝もできて嬉しかったです。しかし、できれば優勝したかったです。奥沢ヴィーナスは多くの大会で優勝することができたので、いいチームだと思っています。私は6年生なので終わってしまっていますが、中学校に進んでも、全国制覇を目指していきたいと思っています。監督やコーチの皆さん、本当にありがとうございました。



Yuina Kumada

## 01 熊田 唯那

6年 ピッチャー 右投げ・右打ち

私は小学校に入ったときから、早くソフトボールがやりたかったので、3年生から入部しました。つらいこともありましたが、自分でやると決めたことは中途半端になるのが嫌なので、「もっと頑張らなきゃ」という思いでソフトボールを続けてきました。その結果、全国大会で準優勝ができたのが嬉しかったです。全日本代表の上野選手のような投手を目指して、さらに練習を重ねていきたいです。



Maaya Hujita

## 03 藤田 眞綾

6年 ファースト 右投げ・左打ち

春の全国大会では、一回戦敗退だったけど、夏の全国大会では準優勝ができたのが良かったです。バッティングはうまくいきませんでした。しっかりバントを決めたり、守備では練習の成果を発揮したりすることができたと思います。みんなと協力して勝ち取った全国準優勝だと思います。これからは、4、5年生に頑張ってもらいたいと思います。



Miyu Gunji

## 04 郡司 美友

6年 セカンド 右投げ・左打ち

奈良県で行われた全国大会に出場し、準優勝することができたので、嬉しい気持ちでいっぱい입니다。これも、監督、コーチ、保護者のみなさんや多くの方の励ましがあり、自分たちの持っている力を試合で発揮できたからだと思います。これからも、「ありがとう」の気持ちを忘れないで、これまでの経験を生かし、新たな夢に向かって頑張ります。



Ayano Gunji

## 05 郡司 彩乃

6年 サード 右投げ・左打ち

私の夢であった県大会優勝、そして全国大会に2度も出場できてとても嬉しかったです。全国大会では、今までにないくらい緊張しました。守備では集中してプレーしたのでミスはありませんでした。攻撃では得意のセイフティーバントを決めることができました。3年生から始めたソフトボールですが、いつも応援に来てくれていた家族に喜んでもらえて良かったです。



Chihiro Iso

## 06 磯 千裕

6年 ショート 右投げ・右打ち

私の思い出は、夏の県大会の決勝でホームランを打ったことです。それまで0-1で負けていました。ホームランを打った時は最高の気持ちでベンチに戻り、みんながハイタッチしてくれたのが嬉しかったです。正直ホームランを打てるとは思っていませんでした。これからもチームの力になれるように頑張ります。お父さんお母さん、いつも応援してくれてありがとうございました。



Kanami Miura

## 07 三浦 香菜美

5年 レフト 右投げ・右打ち

私は、夏の全国大会で三振をしてしまったことが悔しかったです。しかし、最後まであきらめないでプレーできたので準優勝することができ、嬉しかったです。決勝で戦った愛知県のNARUMI(ナルミ)の3番の選手はすごく声が出ていて、楽しそうに試合をやっていたので、とても感動しました。私も同じ気持ちでできるようにしたいと思いました。



Riho Kikuchi

## 08 菊池 莉帆

5年 センター 右投げ・右打ち

全国大会で、自分の全力を出し切ることはできませんでした。「絶対打つ!」と心で思っても、三振で終わってしまったり、ボールをちがうところへ投げてしまったりと、失敗ばかりでした。でも、みんながアウトを取ってくれたので、私も全国ですばらしい思い出を作ることができました。これからは、私たちがチームの中心となるので、手本となるような守備や攻撃ができるようにがんばります。



Mai Kumada

## 09 熊田 麻衣

5年 ライト 右投げ・右打ち

全国大会で準優勝ができて嬉しかったです。しかし、優勝できなかったのが悔しい気持ちもあります。この悔しい気持ちを忘れないで、もっと練習をしていきたいです。6年生が抜けるので、これからは私たち5年生が中心になって頑張りたいと思います。今までの先輩たちが築いてくれた奥沢ヴィーナスの伝統を守り、これからの大会でも優勝したいと思っています。



Mizuki Hikichi

## 11 引地 美月

5年 レフト 右投げ・右打ち

私は、5年生の中でも一番遅れて入部しました。部活のみんなは、すごく優しくしてくれて、もっと早く入部していればよかったと思います。練習は大変ですが、春は大分県、夏には奈良県へと全国大会に出場できてとても良い経験ができました。これからは、あこがれの6年生を目標に、仲間と一生懸命練習をして頑張ります。